

平和憲法九条に明記された「非武装・非戦の国」が、2022年12月に閣議決定された「安保関連三文書」で、敵基地攻撃も可能な重武装・戦争国家に変貌しました。

78年間続いてきた日本の平和が、いま、新たな戦前へと変貌しています。なぜいま、異次元の軍拡、戦争準備なのか。国際情勢と軍拡、有事に向かう日本政治の動きを、「日米安保が見える島・沖縄」から調査・分析、報告としてお話いただきます。

第45回平和憲法をまもる県民集会

日時

2024年 **5** 月 **3** 日(金) 13:00~15:30

会場

秋田県児童会館 子ども劇場

秋田市山王中島町1-2 ☎(018)865-1161

資料代

500円

講演

沖縄が問う日本の憲法、安保、地位協定

講師 前泊 博盛さん

沖縄国際大学・大学院教授

1960年生まれ。明治大学大学院博士前期課程修了(経済学修士)。1984年、琉球新報社入社。編集委員、論説委員長、九州大学大学院助教授(国際政治学)などを経て2011年4月から沖縄国際大学・大学院教授(現職)。

著書

- 『子供たちの赤信号～学校保健室はいま』(沖縄出版)
- 『もっと知りたい! 本当の沖縄』(岩波書店)
- 『検証「沖縄問題」』(共著、東洋経済新報社)
- 『沖縄と米軍基地』(角川新書)
- 『本当は憲法よりも大切な「日米地位協定入門」』(創元社)
- 『終わらない<占領>』(共著、法律文化社)
- 『沖縄経済入門』(共著、沖縄国際大学)
- 『資料集 沖縄問題』(編著、旬報社)
- 『沖縄県史 現代』(編著、沖縄県)
- 『観光コースでない沖縄』(共著、高文研)ほか多数

